

令和 8 年度（2026 年度）

金沢大学法科大学院

小論文試験

試験問題

B 日程問題

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は 7 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないでください。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

## 令和 8 年度（2026 年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	小 論 文
------	-------

次の文章は、苅谷剛彦著『知的複眼思考法—誰でも持っている創造力のスイッチ』（講談社、2002年）の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにする、表題を省略するなど、原文の一部に改変を加えてある。

### 問1（50点）

概念としてものごとをとらえる利点と欠点について、本文に掲げられていない具体例を複数あげて、500字以内で説明しなさい。

### 問2（50点）

下線を引いた文章のうち「ひとつのケースだけについて考えていたのとは事情が一変」する理由を説明したうえで、「いじめはなぜ起きるのか」について、本文に掲げられた〈ケース1〉と〈ケース2〉を手がかりにして、あなたの考えを500字以内で述べなさい。